

2021年 8 月期決算説明会

2021年10月20日

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
(東証第一部・9418)

Copyright © 2021 USEN-NEXT HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

**USEN-NEXT
HOLDINGS**



1.

当社グループ概要

2.

2021年8月期連結決算、2022年8月期予想について

3.

東京証券取引所市場区分変更に向けた対応状況について

4.

2021年8月期の振り返り

5.

2022年8月期のグループ経営方針について

1.

当社グループ概要

2.

2021年8月期連結決算、2022年8月期予想について

3.

東京証券取引所市場区分変更に向けた対応状況について

4.

2021年8月期の振り返り

5.

2022年8月期のグループ経営方針について

USEN-NEXT HOLDINGS

(東証 1 部 連結グループ19社 連結従業員4,900名 ※HD従業員200名)

店舗サービス事業 (3,100名)

- 音楽配信
- 店舗向けIoT/DXサービス
- グルメサイト（自社運営/販売代理）
- 楽曲著作権管理

音楽配信サービスの
国内シェアは90%超

通信事業 (400名)

- 法人向けICT
- 回線取次
- 業務店向け自社光回線
- 個人向け自社光回線
- MVNO

回線取次のフロー収益を自社回線による
ストック収益モデルへシフト

業務用システム事業 (700名)

- 自動精算機製造販売
 - └ レジャー/ビジネスホテル
 - └ 大規模病院/クリニック
 - └ ゴルフ場
- ホテルオペレーション管理システム
- 再来受付機、案内表示システム

自動精算機は
各市場で国内シェアNo.1

コンテンツ配信事業 (400名)

- コンテンツプラットフォーム
 - └ VODサービス
 - └ 電子書籍
 - └ ライブ配信

当社が展開する『U-NEXT』は
国内主要VODサービスの一つ

エネルギー事業 (100名)

- 電力小売
 - └ 高圧
 - └ 低圧
- 都市ガス小売

施設向けインフラサービスで
コスト削減を支援

1.

当社グループ概要

2.

2021年8月期連結決算、2022年8月期予想について

3.

東京証券取引所市場区分変更に向けた対応状況について

4.

2021年8月期の振り返り

5.

2022年8月期のグループ経営方針について

I 前年対比で売上高8%増収、各段階利益は40%超の増益

II 連結、各事業セグメントともにほぼ全ての項目で業績予想を達成

III 4Qにおいて来期以降の収益基盤構築に向けた広告販促等の先行投資を実行

IV バランスシートは着実に改善、自己資本比率は前期末比5%増の23.6%へ

2021年8月期連結決算ハイライト（前年対比）

（単位：百万円）	2020年8月期 実績	2021年8月期 実績	増減額	増減率
売上高	193,192	208,351	+15,159	+7.8%
営業利益	10,883	15,608	+4,725	+43.4%
営業利益率（%）	5.6%	7.5%	—	—
経常利益	10,093	14,768	+4,675	+46.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,909	8,044	+3,135	+63.9%
親会社株主に帰属する当期純利益〔のれん調整後〕	8,507	11,341	+2,835	+33.3%
1株当たり連結当期純利益（円）	81.73	133.90	—	—
1株当たり連結当期純利益〔のれん調整後〕（円）	141.62	188.79	—	—
EBITDA	19,505	24,378	+4,873	+25.0%
EBITDAマージン	10.1%	11.7%	—	—
EBITDA-CAPEX（投融資、コンテンツ前払含む）	9,358	13,835	+4,477	+47.8%

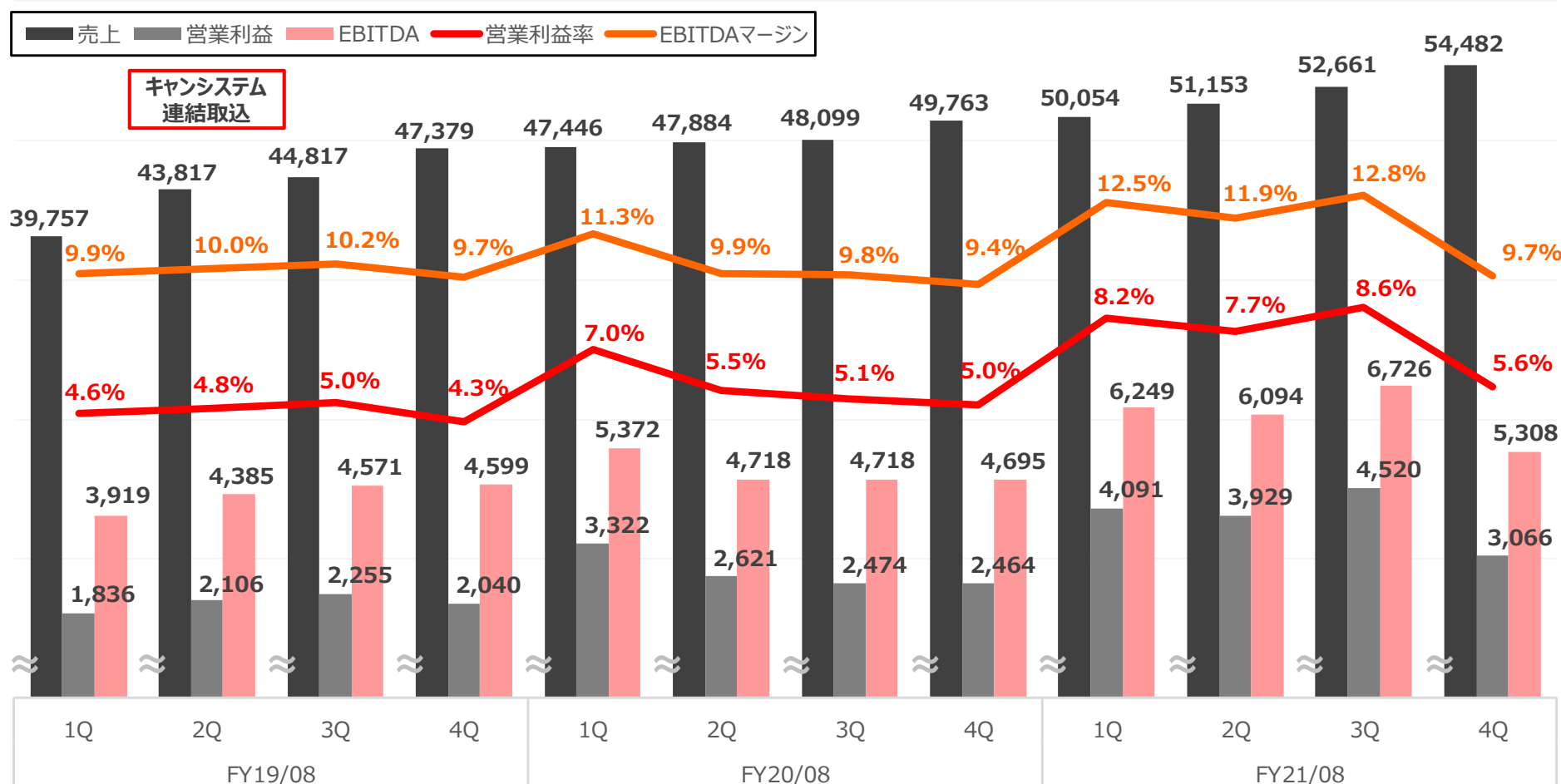
※今回の資料よりU-NEXTのコンテンツ前払費用をCAPEXと見做して「EBITDA-CAPEX」を計算、2020年8月期実績も同じロジックで遡及修正しております。

✓ 前年対比で売上高は8%の増収、各段階利益は40%超の大幅増益を達成

2021年8月期連結決算ハイライト（売上及び営業利益推移）

<YoY>

単位：百万円



売上
+ 9%

EBITDA
+ 13%

営業利益
+ 24%

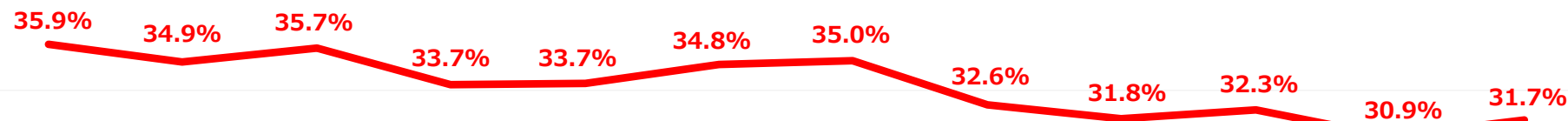
※EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

✓ 4Qの売上は順調に伸長も、営業利益及びEBITDAは広告販促施策実行を主要因として減少

2021年8月期連結決算ハイライト（販管費推移）

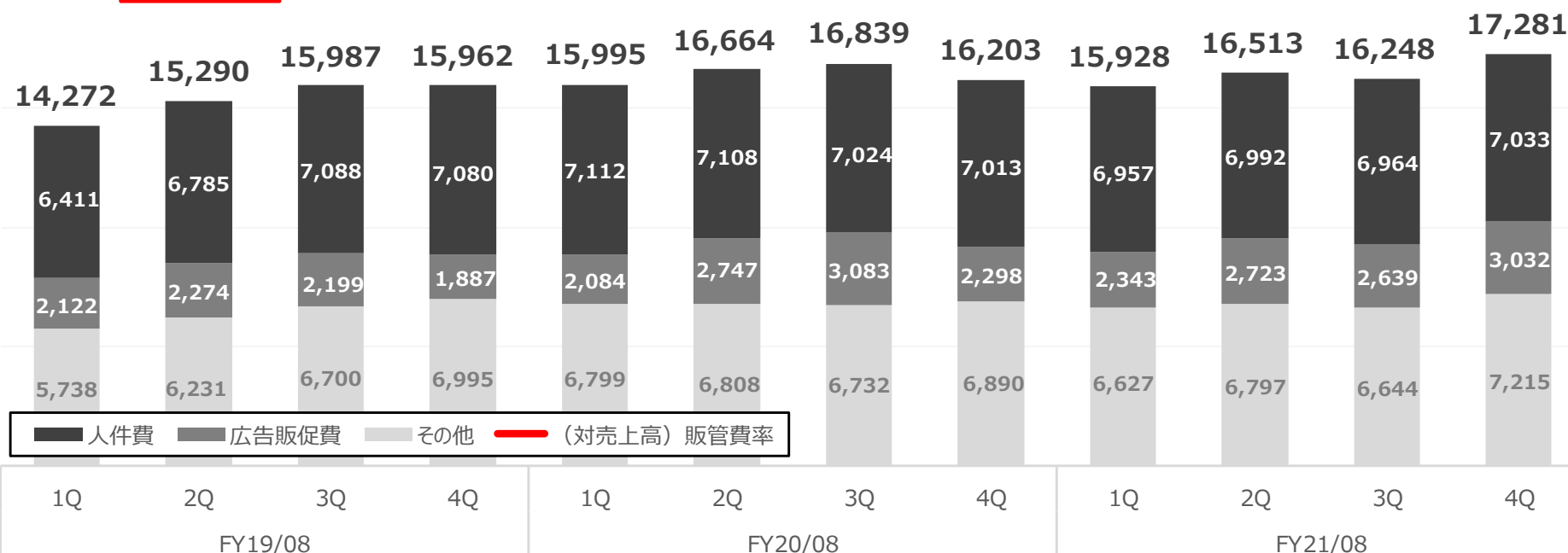
単位：百万円

<YoY>



販管費率
▲ 1 %

キャンシステム
連結取込



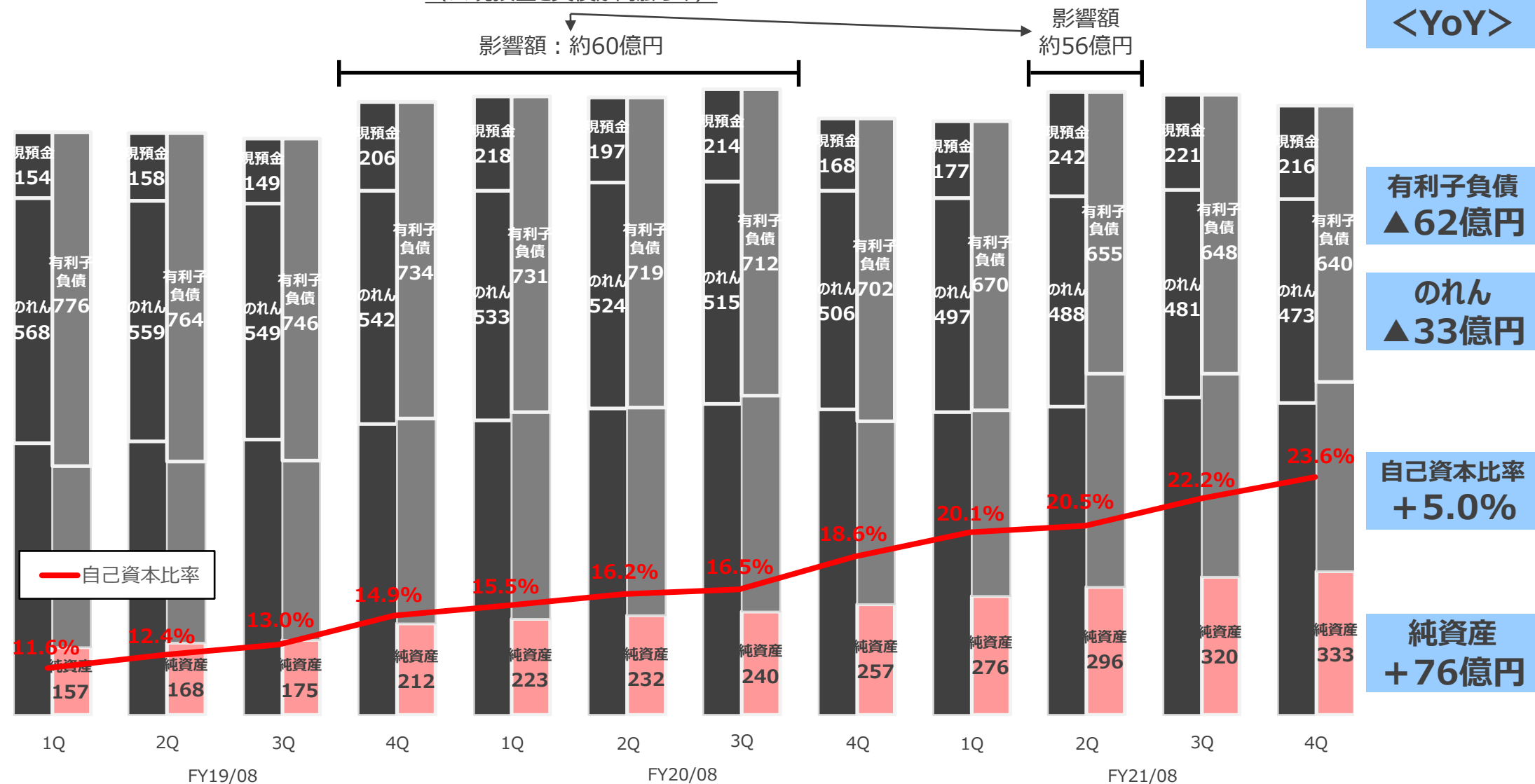
販管費
+ 7 %

- ✓ 人件費は4月の新卒社員入社による増加
- ✓ 広告販促費及びその他は来期以降の収益基盤構築に向けたスポットでの先行投資
(広告販促はPOSレジ初期費用無料CPやWEBプロモーション強化、その他はインサイドセールス業務委託や販売支援金等)

2021年8月期連結決算ハイライト（連結貸借対照表推移）

単位：億円

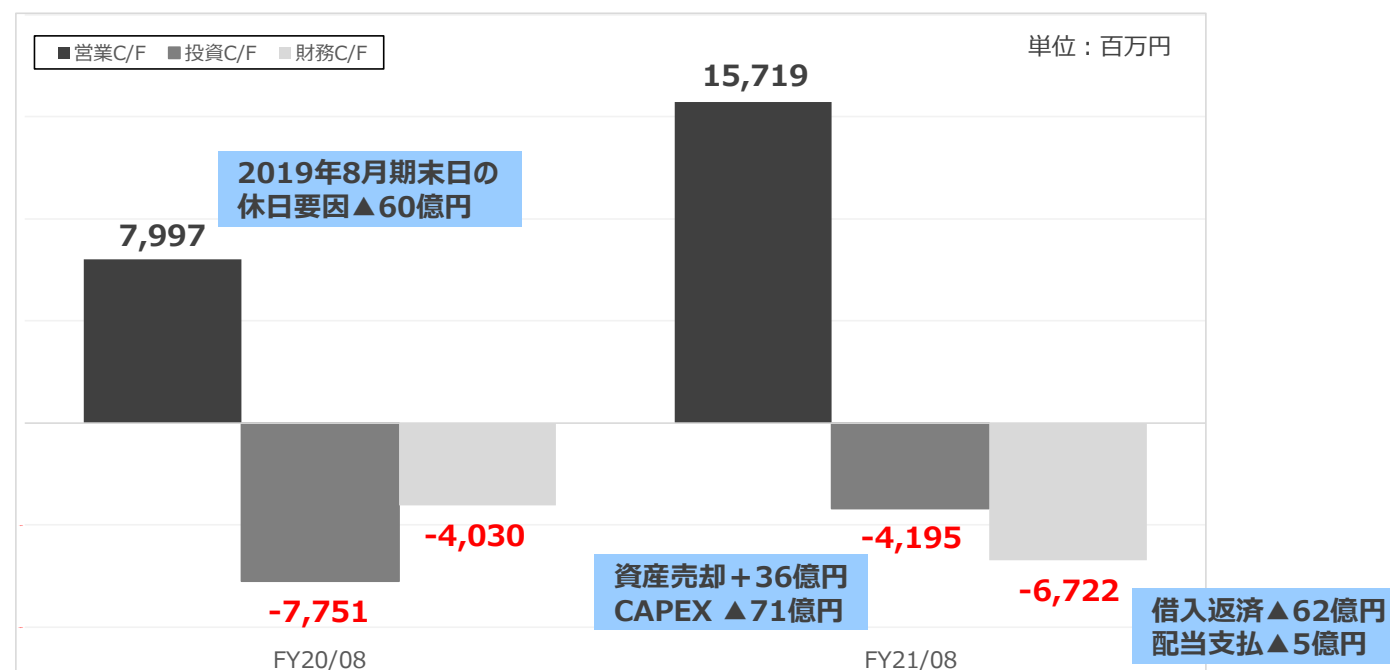
各四半期末日が休日で銀行休業日のため一部支払いが翌月繰り越し
(※現預金と負債が両膨らみ)



✓ 現預金及び純資産の増加、のれん及び有利子負債の減少で着実にB/Sは改善傾向、自己資本比率は23.6%に

2021年8月期連結決算ハイライト（連結キャッシュフロー）

（単位：百万円）	営業C/F （①）	投資C/F （②）	フリーC/F （③＝①＋②）	財務C/F （④）	C/Fトータル （③＋④）
2020年8月期	7,997	▲7,751	246	▲4,030	▲3,783
2021年8月期	15,719	▲4,195	11,524	▲6,722	+4,801



- ✓ 営業C/F：2019年8月期末日が休日だったため2020年8月期初日に60億円が支払繰り越し、当該影響を除いた実勢値ベースでの2021年8月期は前年対比17億円の増加
- ✓ 投資C/F：資産売却収入36億円を除くと前年対比ほぼ横ばい
- ✓ 財務C/F：当該資産売却金の一部を借入返済に充当

事業セグメント別業績（前年対比）

（単位：百万円）		2020年8月期 実績	2021年8月期 実績	増減額	増減率
■ 店舗サービス事業（※1）	売上高	56,190	56,112	▲78	▲0.1%
	営業利益	8,808	8,590	▲218	▲2.5%
■ 通信事業	売上高	43,984	48,179	+4,195	+9.5%
	営業利益	4,034	4,534	+500	+12.4%
■ 業務用システム事業	売上高	20,291	18,925	▲1,366	▲6.7%
	営業利益	3,451	2,898	▲553	▲16.0%
■ コンテンツ配信事業	売上高	45,863	59,956	+14,093	+30.7%
	営業利益	746	5,731	+4,985	+667.7%
■ エネルギー事業	売上高	29,453	27,926	▲1,527	▲5.2%
	営業利益	98	354	+255	+258.6%

※1 今期より旧メディア事業を店舗サービス事業へ統合したため、前年実績も今期実績と同ロジックで作成

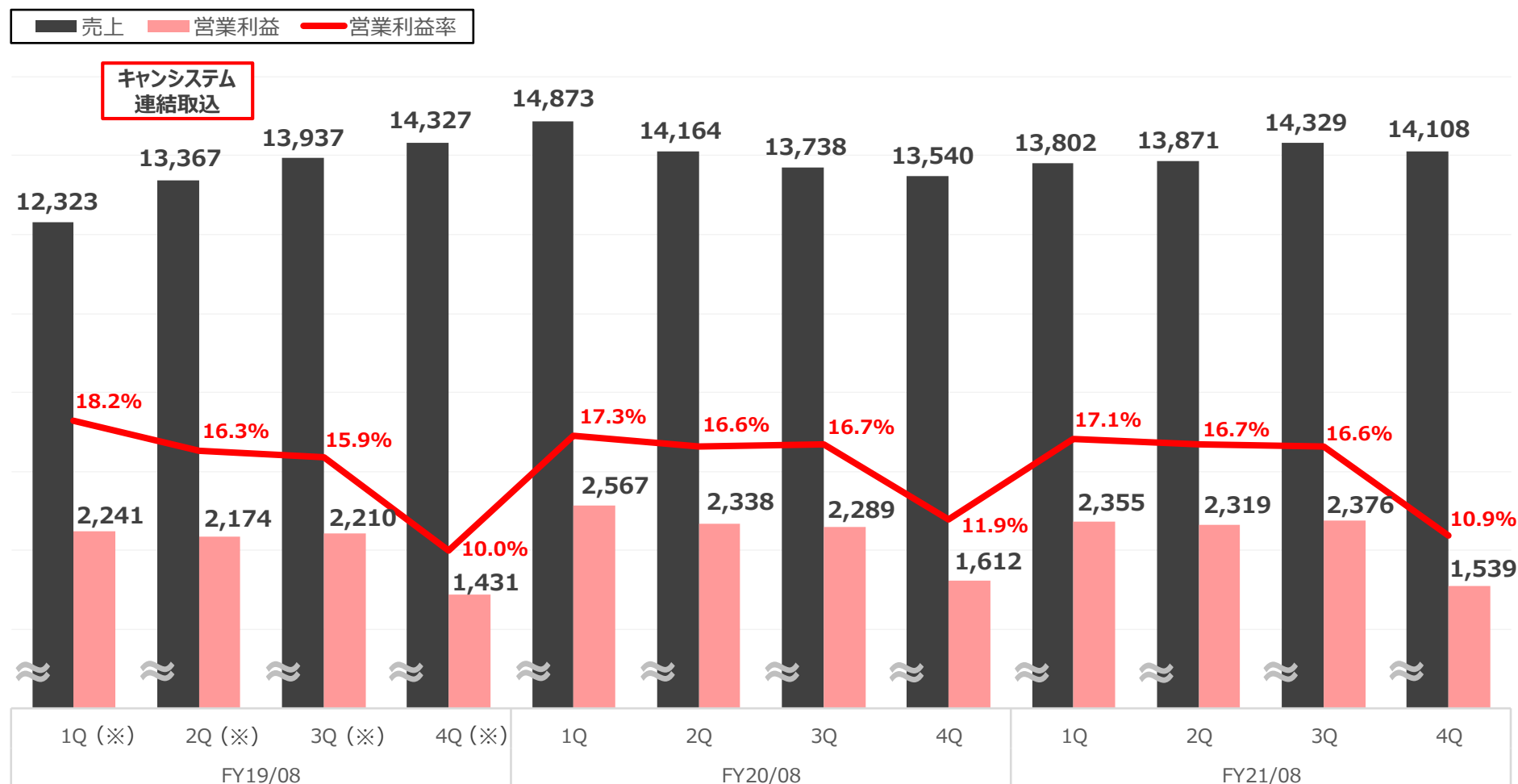
※2 各セグメントに配賦していない全社費用は含まず

- ✓ 店舗サービスはコロナ禍でも底堅く推移、4Qに広告販促施策を実行も前年対比ほぼ横ばいで着地
- ✓ 通信はリモートワークや在宅勤務対応、コンテンツ配信は成長市場のユーザーニーズを捉えて増収増益
- ✓ 業務用システムは2Qからボトムアウトし回復傾向で推移も減収減益
- ✓ エネルギーは東京電力グループとの新施策効果もあり、黒字幅拡大

店舗サービス事業（業績推移）

単位：百万円

<YoY>



売上
+ 5 %

営業利益
▲ 5 %

※旧店舗サービス事業と旧メディア事業の単純合算

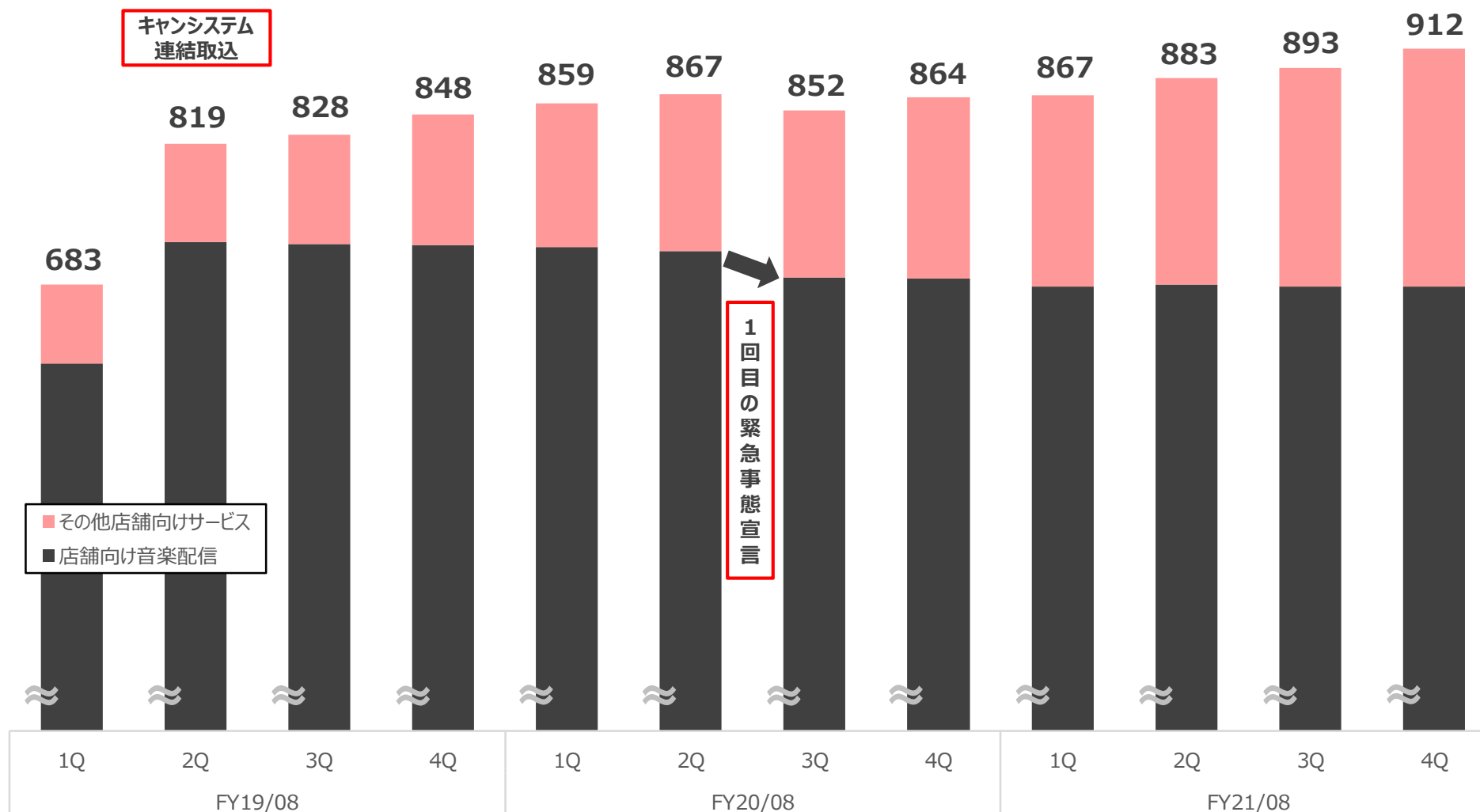
✓ 来期以降の収益基盤構築に向けたスポットでの先行投資を実施した結果、前四半期比で減益

店舗サービス事業（契約件数推移）

単位：千件

<YoY>

+47千件



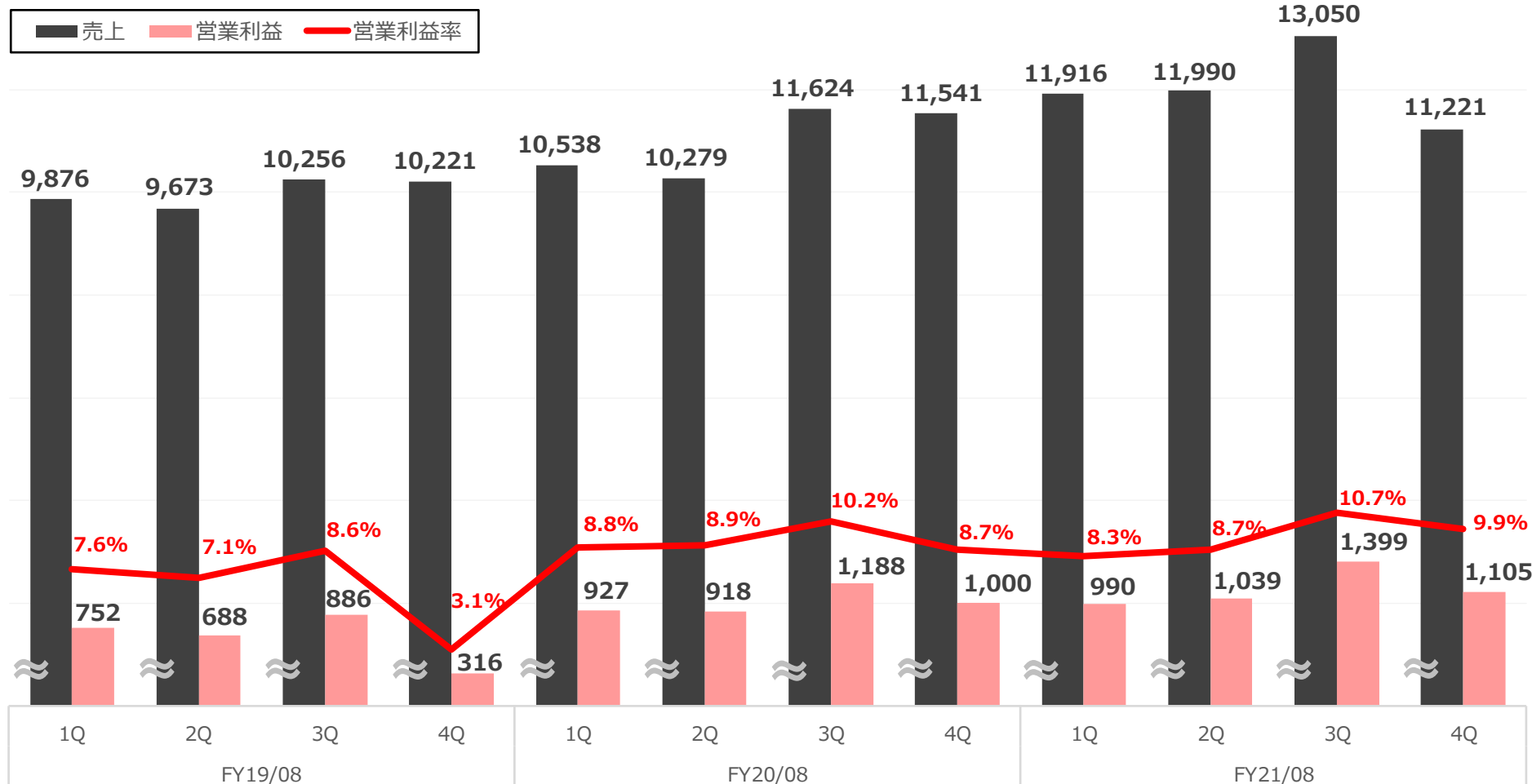
※その他店舗向けサービス：通信回線、POSレジサービス、Wi-Fiサービス、IPカメラサービス、アプリ生成サービス、グルメサイトサービスの合算

※1顧客が複数サービスを契約している場合、サービス毎に1件とカウント

✓ 契約件数は4Qで+20,000件と着実に増加、ストックでも90万件を超過

通信事業（業績推移）

単位：百万円



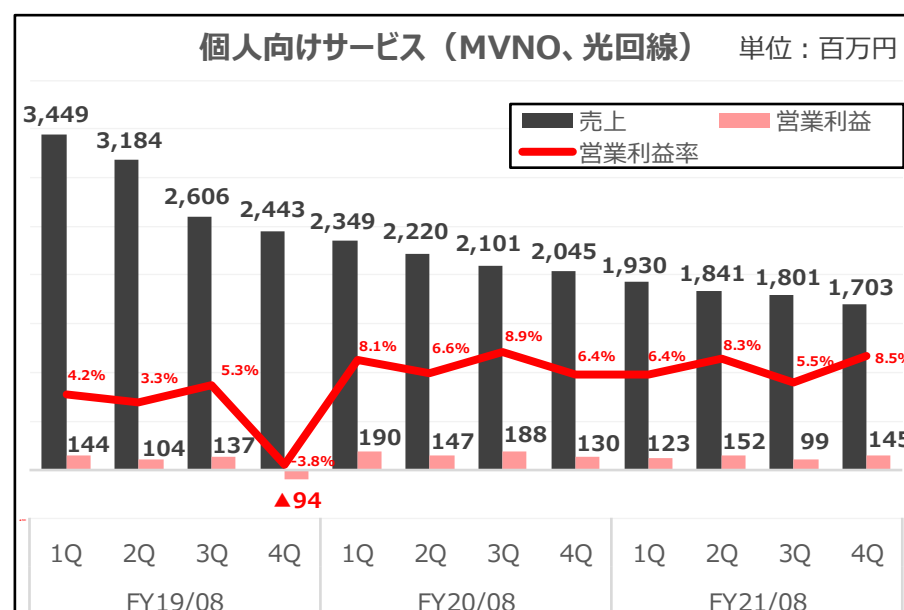
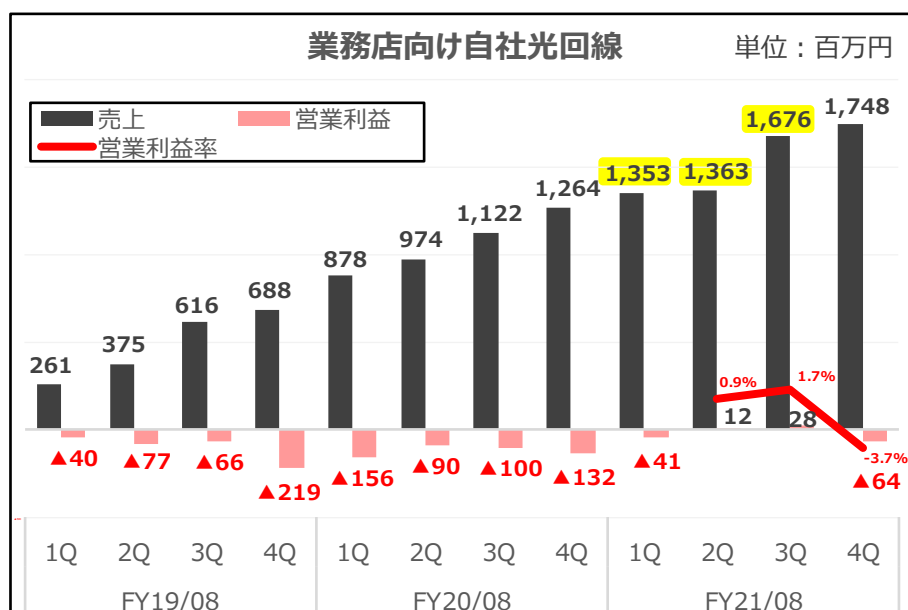
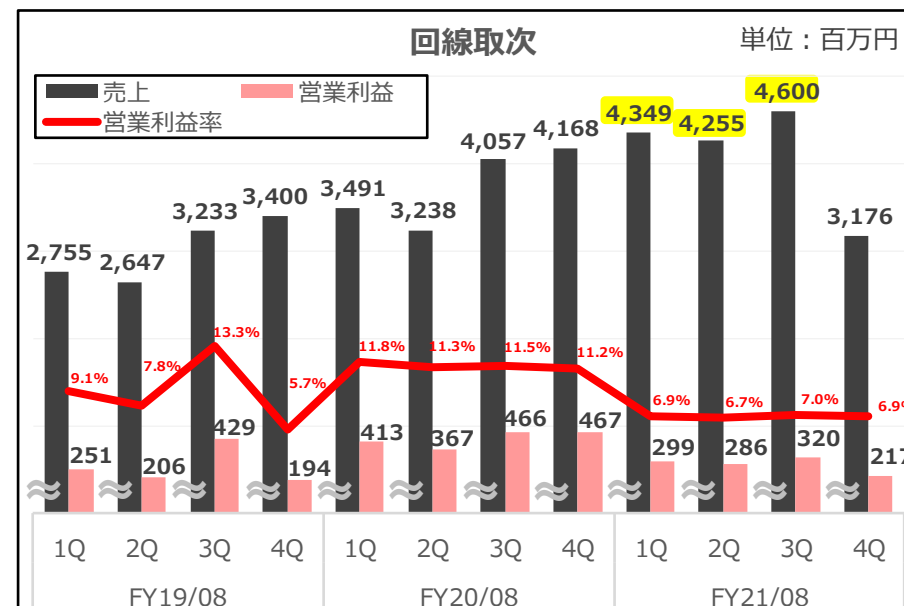
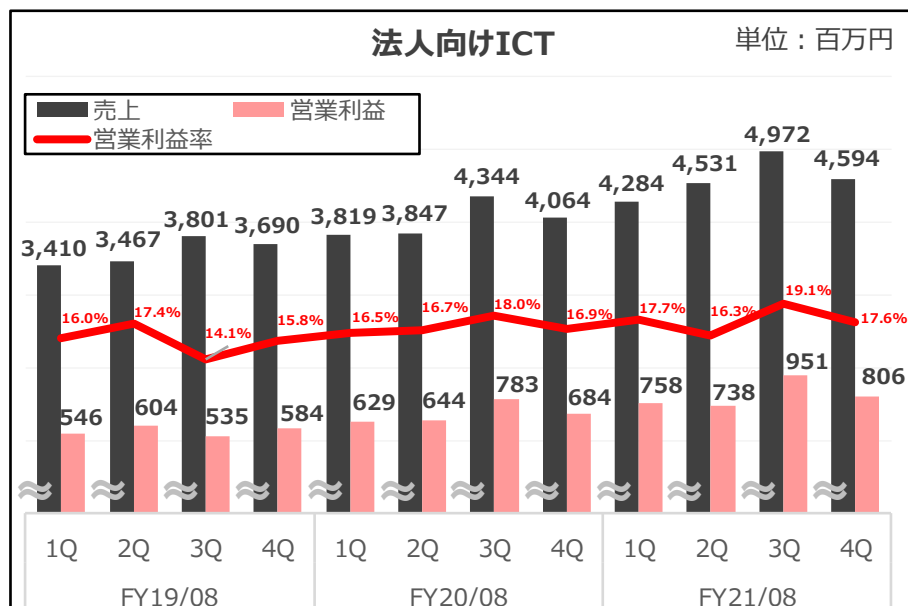
<YoY>

売上
▲ 3 %

営業利益
+ 11%

- ✓ 3Q対比の売上は法人向けICTで3Qに発生した一過性増収要因の反動減、
回線取次における支援金収入の会計処理変更（売上から費用のマイナス計上へ）及び受注弱含みにより減収、
営業利益は上記要因による法人向けICT、回線取次の減益に加えて業務店向け自社光回線で広告販促施策を実行

通信事業（サービス区分別損益）



※通信事業の営業利益においては上記のほか年間6億円ののれん償却費が発生（今期上期で償却完了済み）

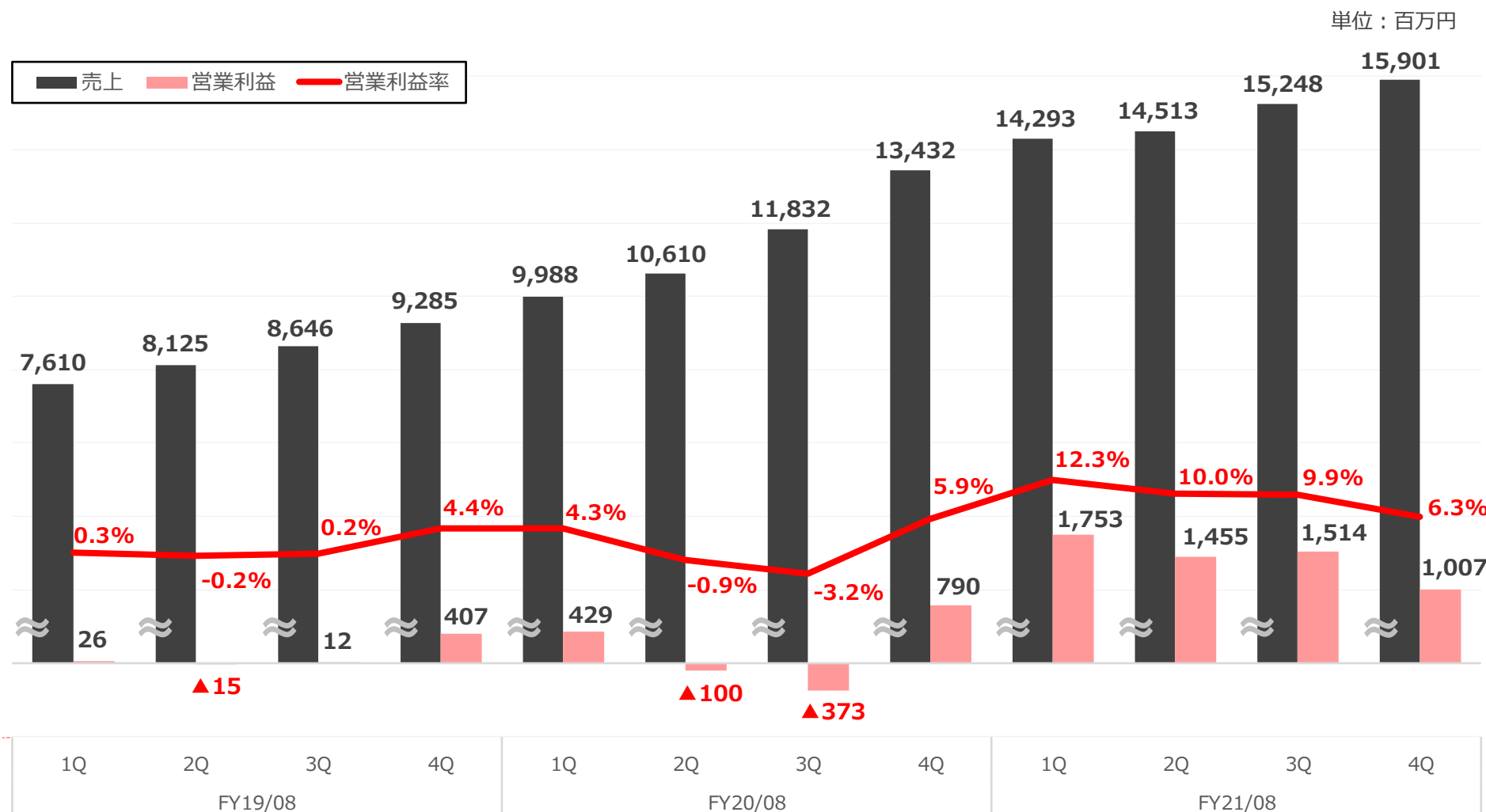
※今期1Qから3Qにおける集計で「回線取次」と「業務店向け自社光回線」に入り繰りが生じておりましたため修正しております。

コンテンツ配信事業（業績推移）

<YoY>

売上
+18%

営業利益
+28%

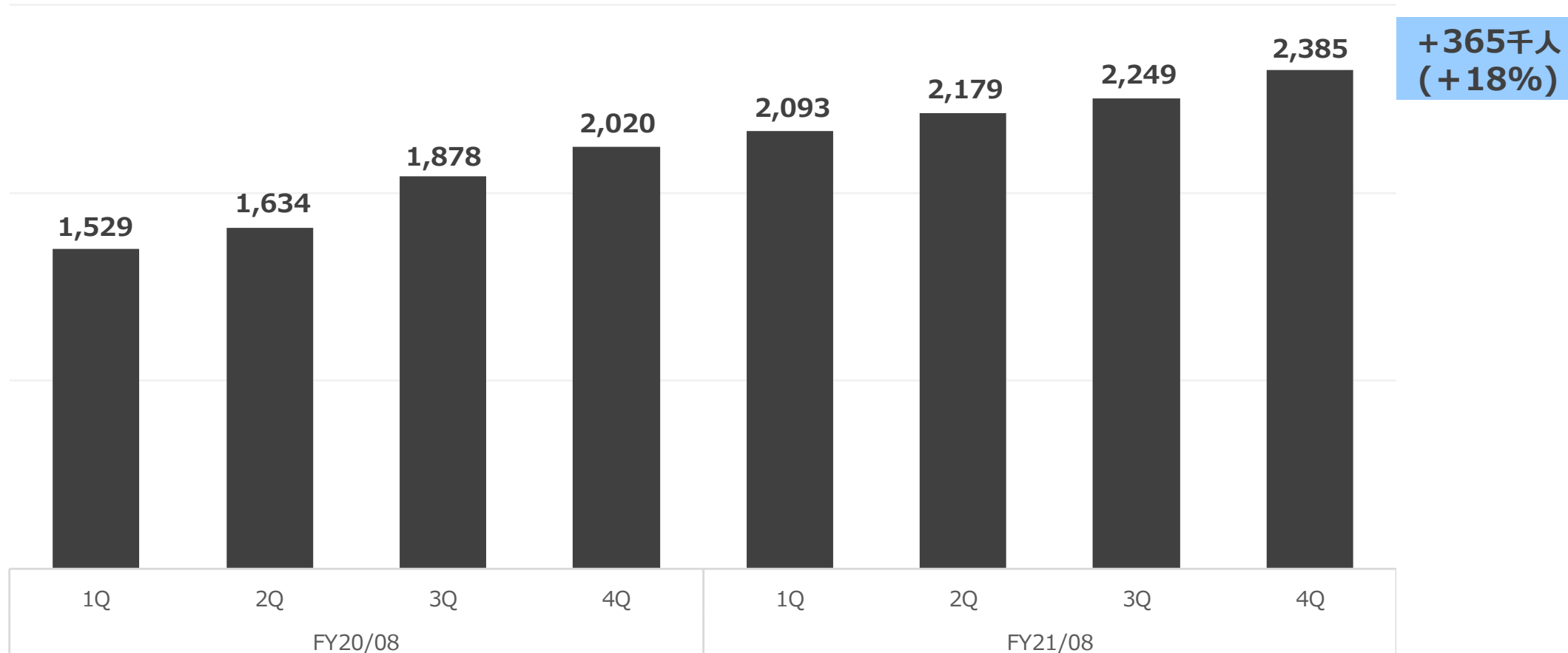


- ✓ 売上は課金ユーザーの純増に連動して安定的に増加、
営業利益は一過性要因を含むコンテンツ費用の増加及び広告販促施策により減益

コンテンツ配信事業（課金ユーザー推移）

<YoY>

単位：千件



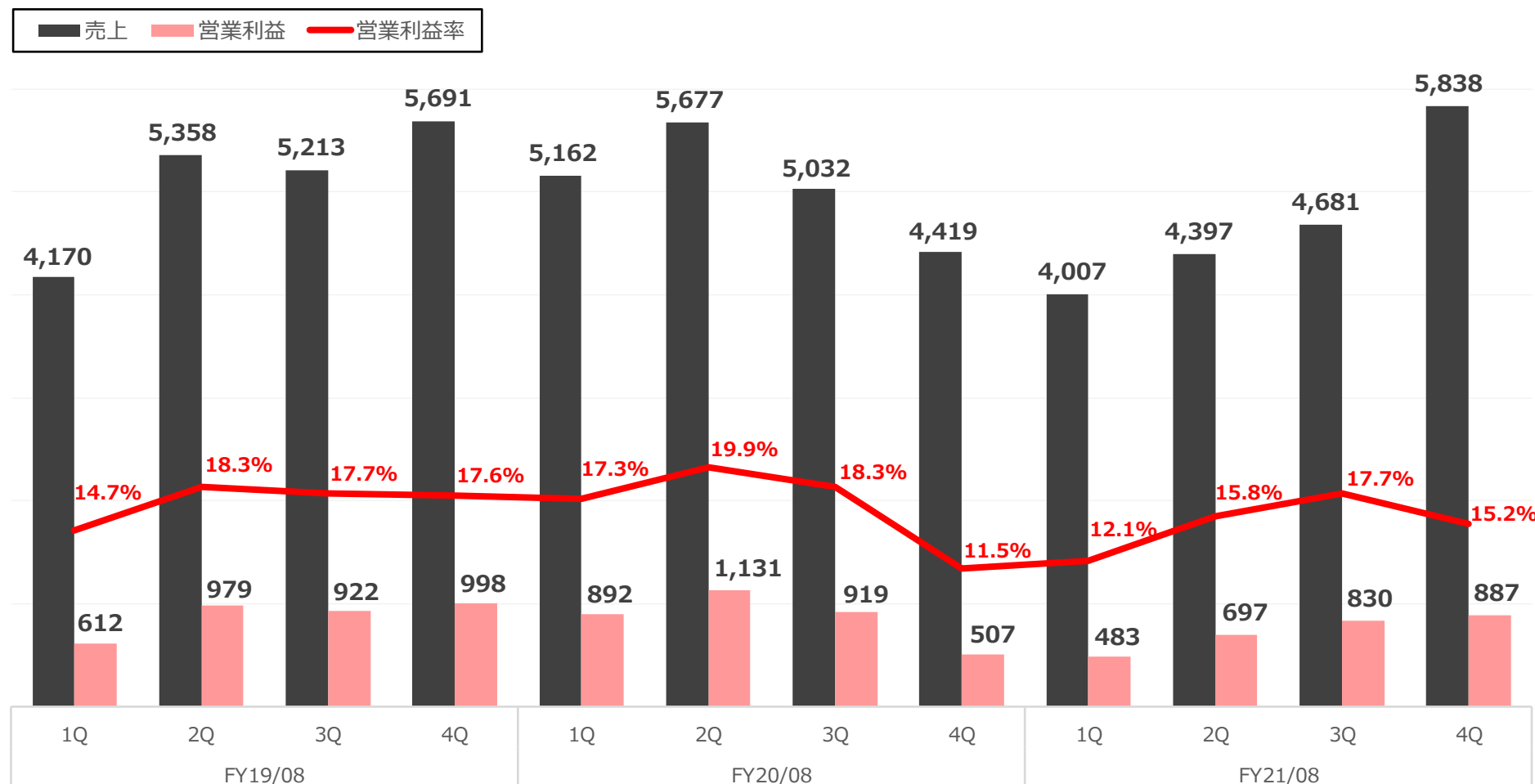
※ビジネスアライアンス先を通じた月額ポイントサービス等を含む

✓ 4Qにおいて課金ユーザーは136千人の増加（四半期ベースで今期最大の純増）

業務用システム事業（業績推移）

単位：百万円

<YoY>



売上
+32%

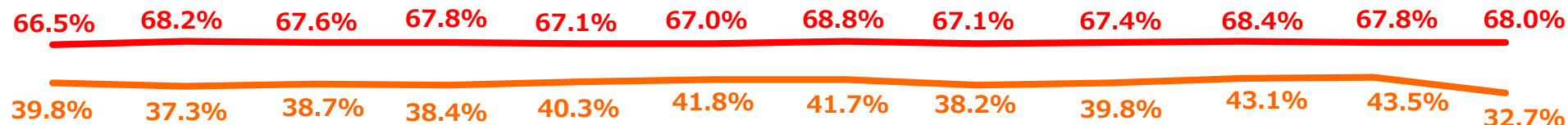
営業利益
+75%

- ✓ 4Qにおいてマイナタッチ（※P44ご参照）の売上が11億円発生し大幅増収を牽引
- ✓ マイナタッチの粗利率がその他販売機器と比較して低いため、3Q対比で営業利益率は微減

業務用システム事業（イニシャル／ランニング別収益）

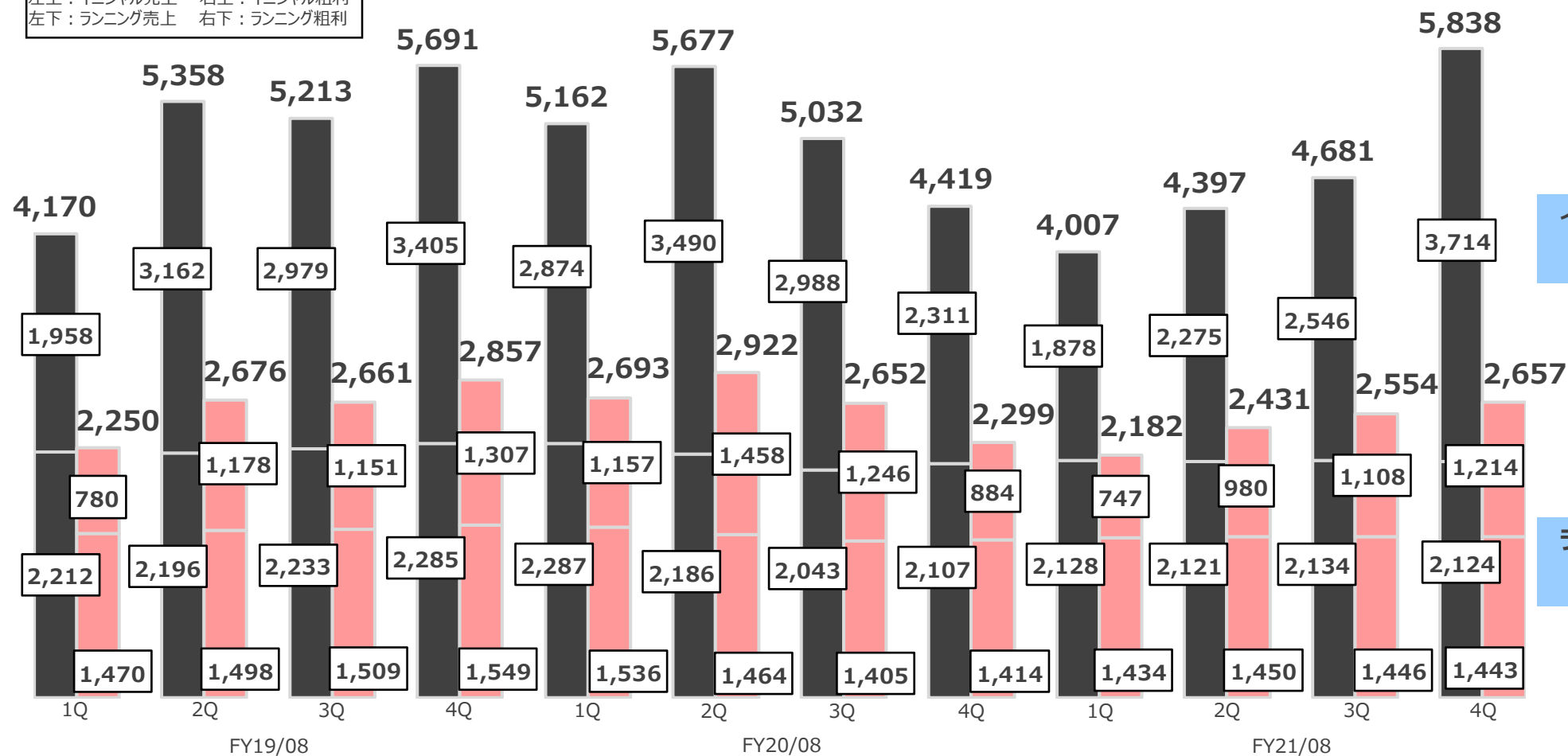
<YoY>

ランニング粗利率 イニシャル粗利率



単位：百万円

左上：イニシャル売上 右上：イニシャル粗利
左下：ランニング売上 右下：ランニング粗利



イニシャル売上
+61%

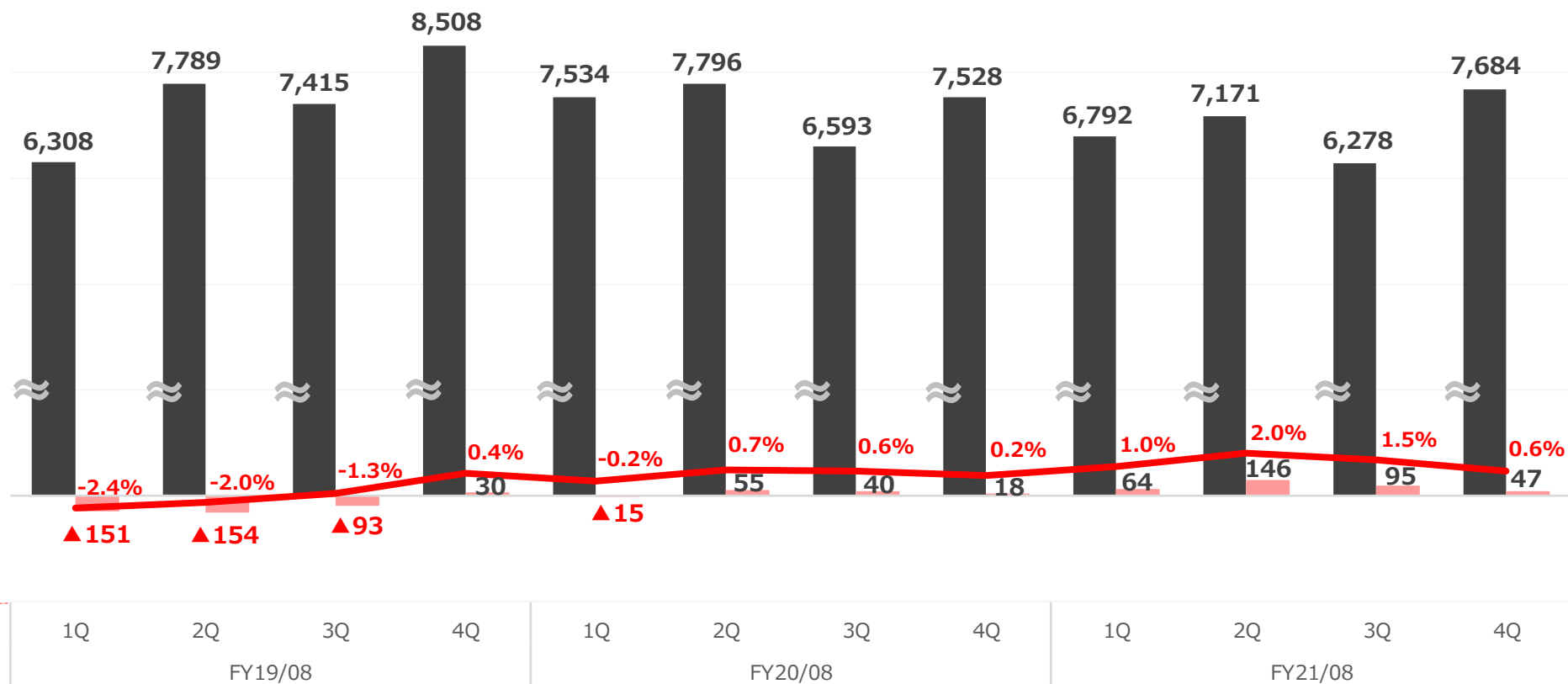
ランニング売上
+1%

エネルギー事業（業績推移）

単位：百万円

<YoY>

■ 売上 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



売上
+ 2 %

営業利益
+ 152 %

✓ 契約件数を着実に積み上げ、消費電力量が増える季節性もあり4Q売上は大きく増加

2022年8月期連結業績予想

(単位：百万円)	2021年8月期 実績	2022年8月期 予想	増減額	新収益認識基準 影響額
売上高	208,351	220,000	+11,648	(▲2,300)
営業利益	15,608	17,000	+1,392	(▲300)
営業利益率（%）	7.5%	7.7%	—	—
経常利益	14,768	16,000	+1,232	(▲300)
親会社株主に帰属する当期純利益	8,044	8,500	+456	(▲300)
親会社株主に帰属する当期純利益 [のれん調整後]	11,341	11,500	+158	(▲300)
1株当たり連結当期純利益（円）	133.90	141.47	—	—
1株当たり連結当期純利益 [のれん調整後]（円）	188.79	191.40	—	—
EBITDA	24,378	26,000	+1,621	(▲300)
EBITDAマージン	11.7%	11.8%	—	—
EBITDA-CAPEX（投融資、コンテンツ前払含む）	13,835	16,000	+2,164	(▲300)

- ✓ 2022年8月期から適用される新収益認識基準による減収減益影響がありつつも、売上で116億円（106%）、営業利益で14億円（109%）の増収増益を予定
- ✓ 新収益認識基準の内容は「売上と原価を両建てしていた取引の相殺処理（利益インパクト無し）」及び「契約期間の利用料売上を一括計上していた取引の期間按分処理（利益の一部が翌期以降へ繰り越し）」

2022年8月期事業セグメント別業績予想

(単位：百万円)		2021年8月期 実績	2022年8月期 予想	増減額	新収益認識基準 影響額
■店舗サービス事業	売上高	56,112	56,000	▲112	(▲1,600)
	営業利益	8,590	8,600	+10	(▲80)
■通信事業	売上高	48,179	50,000	+1,820	(▲700)
	営業利益	4,534	5,100	+565	(▲220)
■業務用システム事業	売上高	18,925	20,500	+1,575	—
	営業利益	2,898	3,100	+201	—
■コンテンツ配信事業	売上高	59,956	67,000	+7,043	—
	営業利益	5,731	6,900	+1,169	—
■エネルギー事業	売上高	27,926	30,000	+2,074	—
	営業利益	354	400	+46	—

※ 各セグメントに配賦していない全社費用は含まず

- ✓ 店舗サービスは新収益認識基準による減収減益影響受けつつも、2021年8月期対比で増益を見込む
- ✓ 通信及びコンテンツ配信は安定した成長継続を予想、2022年8月期もグループ全体の収益成長を牽引
- ✓ 業務用システム及びエネルギーは市場環境の正常化期待を織り込み、増収増益を計画

2022年8月期の配当予想について

	2021年8月期 決定額	2022年8月期 予想	増加額
1株当たり配当金（円）	13.5	15.0	+1.5

単位：円

1株あたり配当金推移



✓ 2022年8月期は1.5円増配の15円を予定

1.

当社グループ概要

2.

2021年8月期連結決算、2022年8月期予想について

3.

東京証券取引所市場区分変更に向けた対応状況について

4.

2021年8月期の振り返り

5.

2022年8月期のグループ経営方針について

4月開催の中間決算説明会でご説明したとおり当社は今回の市場区分変更に伴い「プライム市場」への変更申請を予定しており現状のステータス及び今後の予定は以下の通り

東証による
一次判定

プライム市場上場維持に向けた定量的基準の順守状況

＜適合＞ 流通株式数、流通株式時価総額、売買代金

＜未適合＞ 流通株式比率（※基準35%以上に対して25%未満）

（済）

東証による
二次判定

「5年以内に売買実績があり、保有目的が純投資」である一部事業法人株主の保有株式につき流通株式への区分変更を申請、流通株式比率は35%弱へ増加

（済）

定時株主総会
（11月下旬）

当該総会をもって退任する取締役の保有株式が固定株から流動株へ変わるため、株主総会終了時には実質的に流通株式比率の基準を適合している状況に

12月中

株主総会以降の取締役会による機関決定を経てプライム市場への変更申請を予定、併せて『申請日時点では流通株式比率の基準に適合している』旨の「上場維持基準の適合に向けた計画書」を合わせて提出予定

1.

当社グループ概要

2.

2021年8月期連結決算、2022年8月期予想について

3.

東京証券取引所市場区分変更に向けた対応状況について

4.

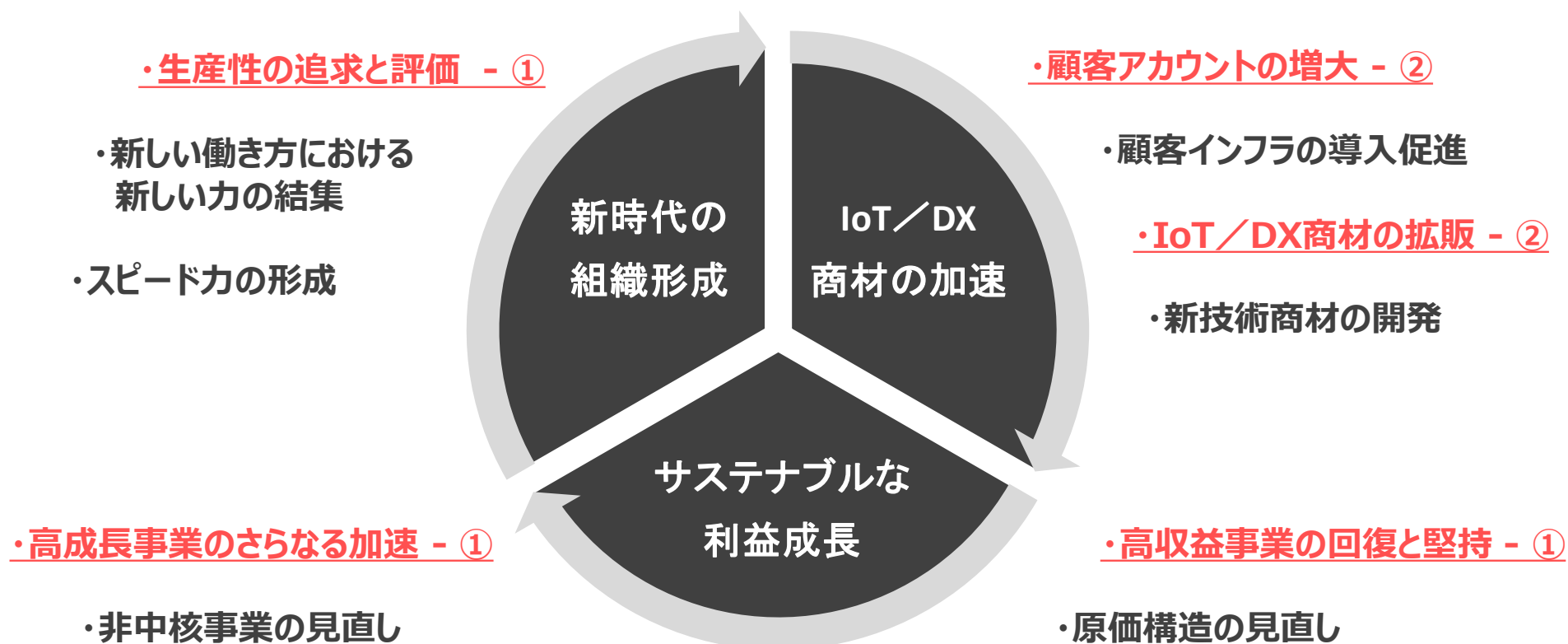
2021年8月期の振り返り

5.

2022年8月期のグループ経営方針について

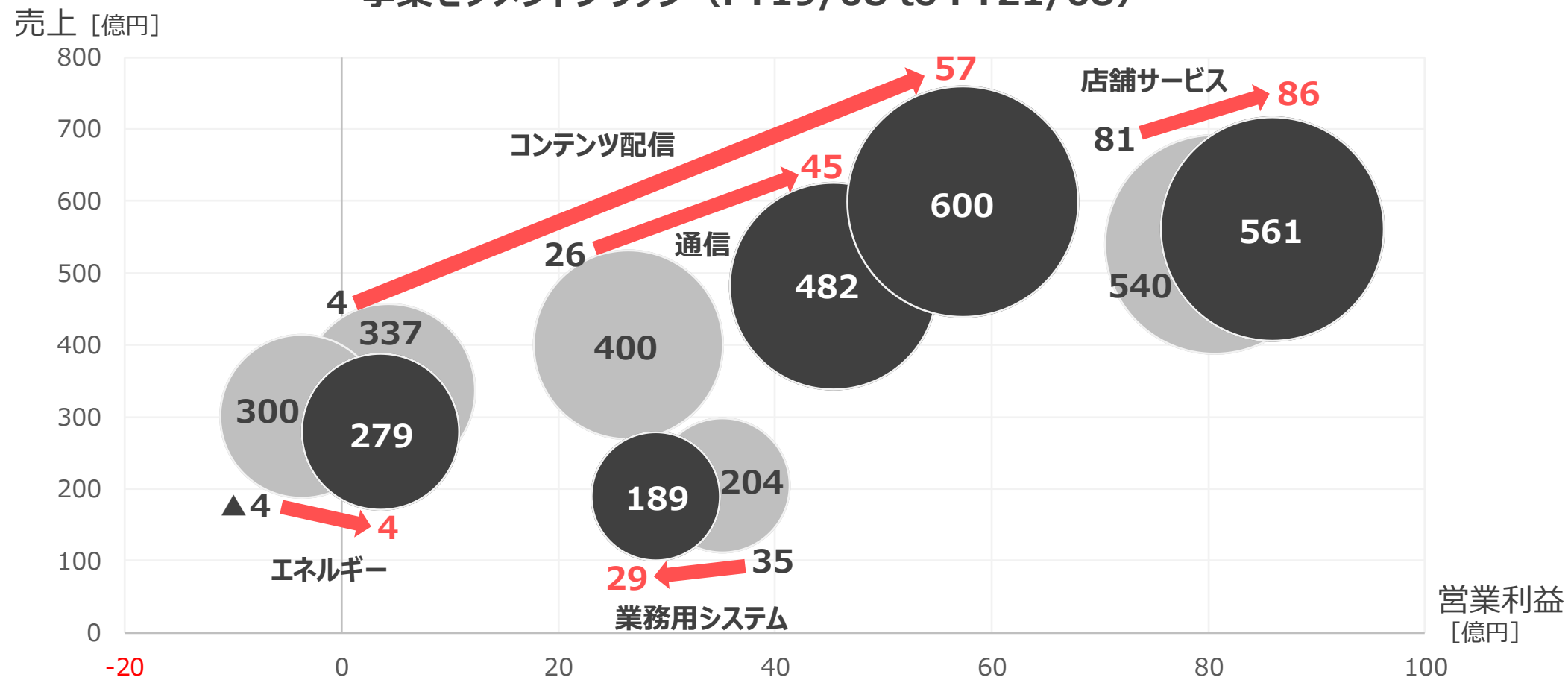
＜2021年8月期グループ経営方針＞

今こそ、必要とされる次へ。



セグメントブリッジ、従業員当たり売上高／粗利益 - ①

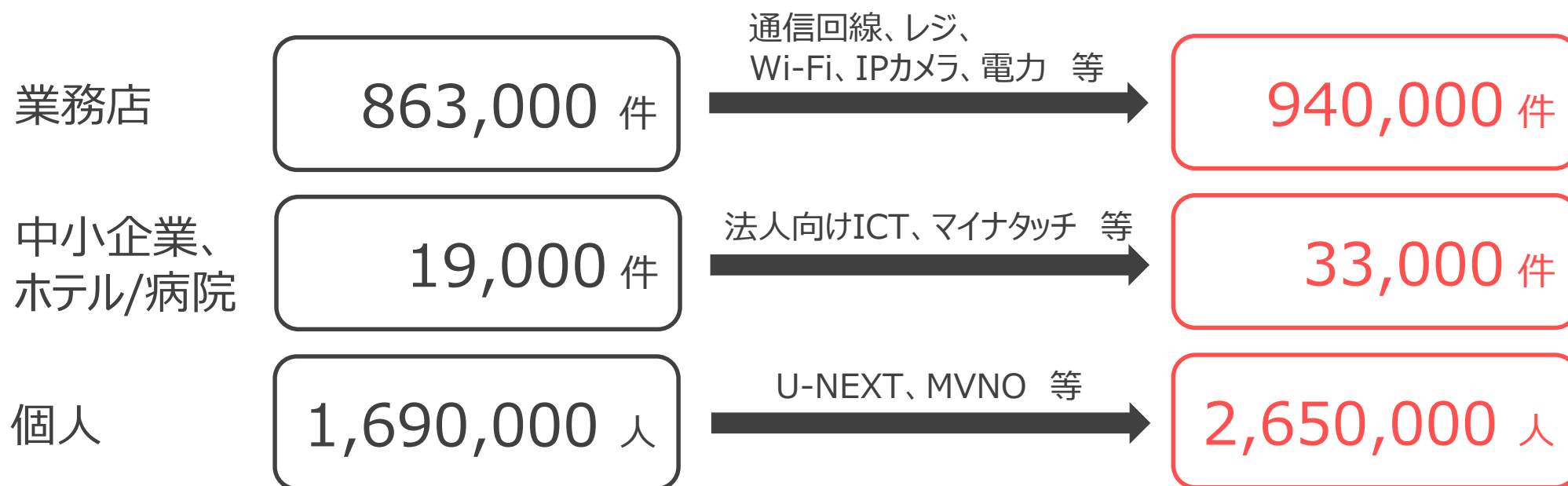
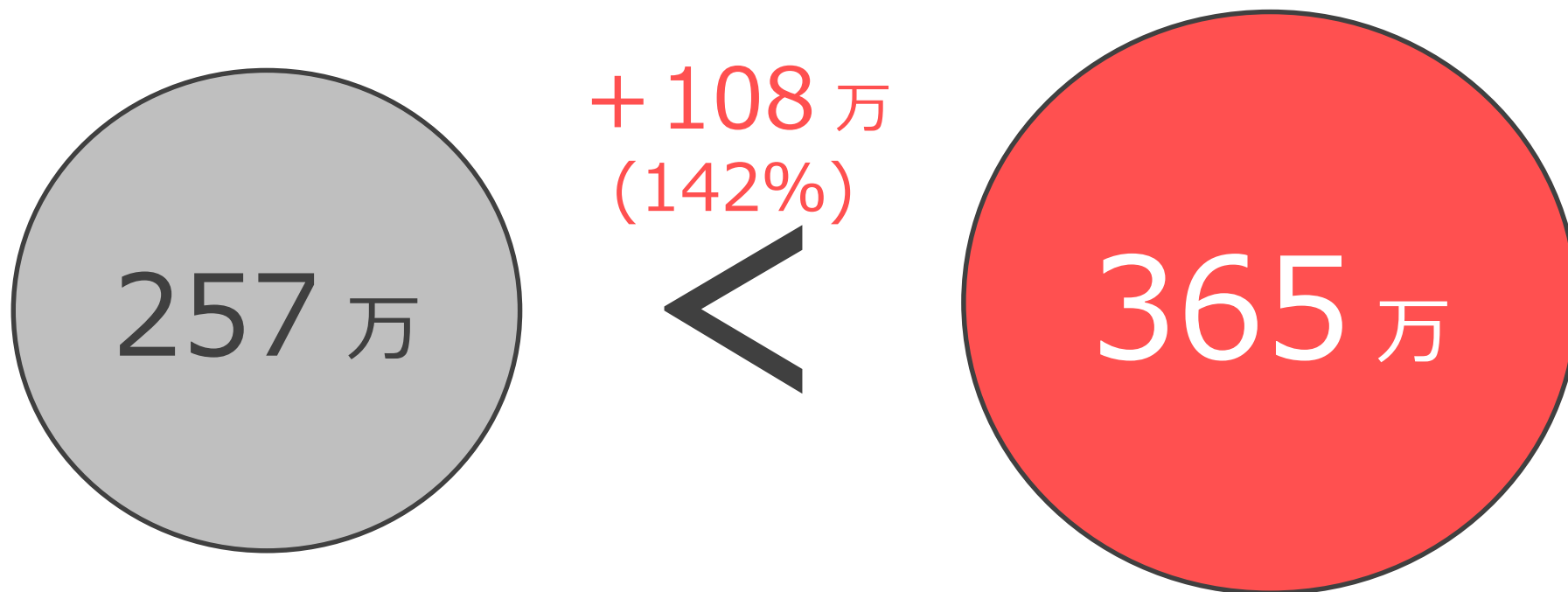
事業セグメントブリッジ (FY19/08 to FY21/08)



従業員一人当たり売上高／粗利益 (FY19/08 to FY21/08)

売上高	3,600 万円 ➡ 4,300 万円
粗利益	1,400 万円 ➡ 1,700 万円

グループ顧客資産（FY19/08 to FY21/08） - ②



経営パフォーマンス（直近3ヶ年）



	FY2019/08	FY2020/08	FY2021/08	FY2022/08 (F)
売上高	1,757億円	↗ 1,931億円	↗ 2,083億円	↗ 2,200億円
営業利益	82億円	↗ 108億円	↗ 156億円	↗ 170億円
有利子負債	734億円	↓ 701億円	↓ 640億円	↓ 594億円
ROE	33.6%	↓ 21.0%	↗ 27.2%	↓ 23%
自己資本比率	14.9%	↗ 18.6%	↗ 23.6%	↗ 29%

1.

当社グループ概要

2.

2021年8月期連結決算、2022年8月期予想について

3.

東京証券取引所市場区分変更に向けた対応状況について

4.

2021年8月期の振り返り

5.

2022年8月期のグループ経営方針について

ウィズコロナ／アフターコロナへの適応

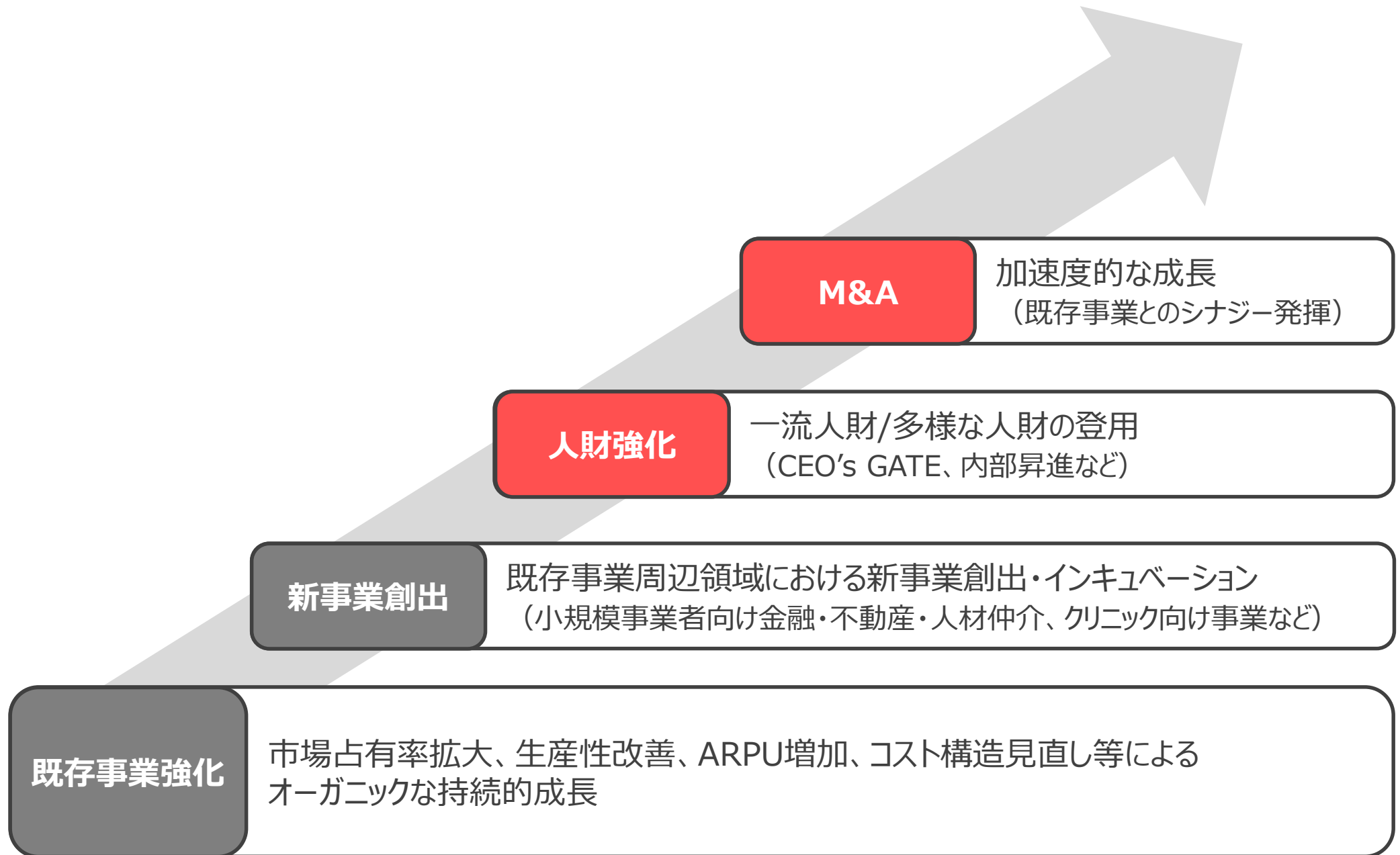
- ✓ 既存事業を環境変化に適応させ、安定成長トレンドを堅持
- ✓ 適切なポートフォリオマネジメント経営、バランスの取れた攻守戦略の継続

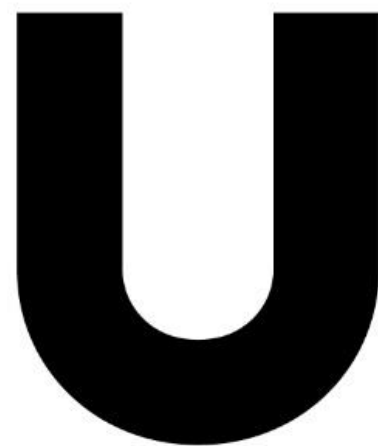
新中期経営計画、統合報告書

- ✓ 新中期経営計画及び統合報告書を策定中、2月に公表予定
- ✓ サステイナブル経営の推進（SDGs/ESG/コーポレートガバナンスコードへの対応）

非連続成長への挑戦

- ✓ 内部/外部を問わずグループの成長へ貢献しうる人財を積極活用
- ✓ 財務規律を維持しながらプロアクティブな新事業創出、M&Aなどで成長機会を追求





USEN-NEXT
HOLDINGS

必要とされる次へ。

本資料に記載されている意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、リスクや不確実性を含んでいるため、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。